

昭和30年度の学習課程表 (第2年次)

学習内容

2年目も1年目と同じく「生活を見つめ、生活を高めよう」の共通目標で、「私たちの暮らしをよくするための実態調査」という課題が設定されました。具体的な学習内容は、生産、経済、消費といった、町の暮らしについての調査学習でした。

生活を調べるという経験を通して、問題を科学的に処理し、正しい結論を出す能力や技術を身につけると共に、生活上の種々の問題に目をむけ、家庭生活や社会生活をよりよくすることを目指しました。

学習方法

各地区の公民館を拠点に、約10名ずつのグループを複数構成し、生活の実際について調べる学習が進められました。5週間各週ごとに学習テーマを定め、グループでの活動を主体とし、月に1回は「月曜集会」と称して全体の運営や学習についての意見交換を持つという方法がとられました。

各週のテーマ

第1週：私達の年間収入の道をしらべよう

第2週：収入源の原価はどうしてきまるかを
しらべよう

第3週：私達の生産物が売り渡されて消費者に渡るまでの道筋をしらべよう

第4週：私達の暮しの必需品が私達の手
渡るまでの道筋をしらべよう

第5週：暮しの協同化によって暮らしはどれだけ高まるかしらべよう
暮しの協同化のために私たちは何から始めたらよいかを考えよう

学習課程表(昭和30年度)
『社会学級のあゆみ』